

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-4-1 子育て環境の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 青少年家庭課子ども子育て支援室長 河原 賢 電話番号 0852-22-6071

事務事業の名称	仕事と家庭の両立支援事業	
目的	(1) 対象	こ労働者
	(2) 意図	仕事と子育ての両立ができる雇用環境をつくる
事業概要	仕事と子育ての両立ができる雇用環境をつくるため、従業員の子育て支援に積極的に取り組む企業を「こころカンパニー」に認定し、県の入札制度や制度融資で優遇する。 女性の子育ての負担を軽減するため、積極的に育児に参加する男性（イクメン）や従業員（部下）の育児を理解し応援する経営者・管理職（イクボス）を養成する各種の啓発を実施する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		210.00	220.00	230.00	
式・定義	しまね子育て応援企業認定制度（こころカンパニー）の認定を受けた企業数	実績値	196.00	226.00	244.00	256.00		企業数
		達成率		107.60	110.90	111.40		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値	0.00	0.00				
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	475	1,983
うち一般財源 (千円)	475	1,983

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・認定企業数は直実に増加している。
- ・認定されると建設業の入札参加資格に加点されることから、特定の業種に認定企業の偏りが見られる。（建設業者数：178/256社）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

認定企業は直実に増加しており、仕事と子育ての両立ができる雇用環境の広がりや寄与している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

特定の業種以外は登録が少ない。  
多くの企業で子育て関係の制度の活用が課題であるにもかかわらず、認定作業において、その観点での審査が十分でない。  
本社が県外である企業は原則として認定の対象外としているが、大きな雇用の場となっている大規模な事業所も少なくないことから、こうした事業所の取り扱いを検討する必要がある。

②困っている状況が発生している「原因」

特定の業種以外は登録のメリットが少なく、インセンティブが働きにくい。  
認定基準が当該企業の子育て環境の実態を反映しきれていない。  
現在は、一般事業主行動計画が島根労働局に提出されているもののみを対象としている。

③原因を解消するための「課題」

新たな登録メリットを付加していく必要がある。  
認定基準や要件を見直していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

イクメンやイクボス養成に向けた施策を充実させていく中で、こころカンパニーの審査内容も、子育て支援の各種制度の実際の活用などが反映されるよう見直していく必要がある。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）